

平成 20 年 5 月 8 日

各位

会社名 石油資源開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 棚橋 祐治  
コード番号 1662  
問合せ先 広報 IR 部広報グループ長 長谷川茂吉  
電話番号 03-6268-7110

カナダ・アルバータ州 Hangingstone 鉱区オイルサンド拡張開発事業の  
環境影響調査開始について

当社の連結子会社である Japan Canada Oil Sands Limited (JACOS)は、Hangingstone 鉱区の通称 3.75 セクション地域において、現在日量約 8,000 バレルのビチューメン（オイルサンド層から採取される超重質油）を生産しております。Hangingstone 鉱区未開発地域においては、JACOS がオペレーター(権益比率 75%)として、Nexen Inc. (権益比率 25%)との共同事業により地質評価作業を実施しております。これまでの評価結果から、開発に足る埋蔵量が期待出来ると判断し、今後開発の最終判断に必要となる準備作業の一環として、JACOS はアルバータ州政府環境省に対して、Steam Assisted Gravity Drainage (SAGD)法によるオイルサンド拡張開発事業(本プロジェクト)の環境影響調査実施の手続を開始いたしました。

環境影響調査の手続の第一歩として、現地時間 5 月 7 日、本プロジェクトの事業計画概要書 (Public Disclosure Document) をアルバータ州環境省に提出いたしました。今後、本プロジェクトが地域に与える環境および社会経済的影響について、地域の地権者、先住民を含む住民他関係者ならびに監督官庁と十分に協議を行いながら準備作業を進めてまいります。今回の事業計画概要書の提出から環境影響調査終了までには約 18 ヶ月を要するものと見込まれます。

JACOS は現時点における埋蔵量評価に基づき、今後 25～30 年間にわたり最大で日量 35,000 バレルのビチューメンを既存操業に追加して生産出来ると見込んでおります。開発スケジュールは、今後の追加地質評価作業の進展ならびに事業環境等により流動的ではありますが、現時点では 2014 年第 4 四半期頃の生産開始を目標としております。

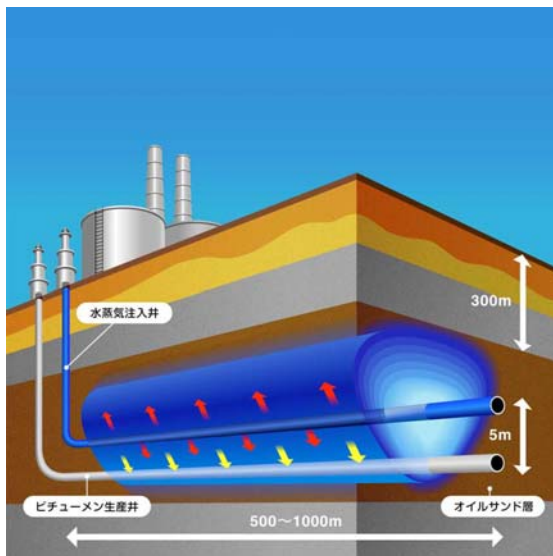
JACOS は 1999 年より SAGD 法によるビチューメン生産の実証プロジェクトを実施しております。ビチューメンは極めて粘性が高い超重質油ですが、SAGD 法は、一般に地下約 100 メートル以深の油層に対し適用されます。平行する二本の水平坑井を掘削し、上方の坑井より水蒸気を圧入することにより地下のビチューメンの流動性を高め、下方の坑井からビチューメンを生産するものであります。JACOS はアルバータ州内で最も早い時期に SAGD 法による操業を

開始した企業の一つであり、SAGD 法による操業では業界で高水準の知見を有しております。

なお、アルバータ州環境省に提出した事業計画概要書につきましては、今後数日以内に JACOS のホームページ(<http://www.jacos.com>)に掲載予定であります。また、今回環境影響調査を実施する開発対象地域は、従来 Hangingstone West プロジェクトと称していた地域であります。今後は既存プロジェクトを Hangingstone 3.75 セクション地域プロジェクトあるいは実証プロジェクト、今般の拡張開発計画を Hangingstone SAGD Project と称することといたします。

以上

# Hangingstone SAGD Project 鉱区位置図



SAGD 法概念図